



令和6年度 豊田市当初予算編成方針

1 本市を取り巻く環境

我が国では、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、海外景気の下振れリスク、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響を予測することは困難な状況にあります。

あわせて、少子高齢化のさらなる進展、コロナ禍を契機とした価値観・ライフスタイルの多様化、激甚化・頻発化する自然災害など本市を取り巻く社会環境は目まぐるしく変化しています。

こうした中で、積極的に変化に適応しながら持続可能なまちづくりを進めるため、柔軟に切れ目なく市民の暮らしを支えるとともに、果敢にミライへの挑戦を加速していく必要があります。

2 予算編成の基本方針

令和6年度は、第8次総合計画後期実践計画の最終年度です。社会環境の変化による課題への対応は確実に実施するとともに、総合計画に掲げるめざす姿の実現に向けて、全ての世代が明るい展望を持てるまちづくりを進めることを目指し、以下の4点を基本として予算編成します。

- (1) 第8次総合計画の総仕上げとして、後期実践計画事業を推進します。
- (2) 市民生活の「安全・安心」を確保する取組を着実に推進します。
- (3) 将来を見据えた人・まちへの投資を推進します。
- (4) 歳入の積極的な確保、歳出の適正化を進め、「財務体質の強化」を図ります。

3 具体的な取組

(重点的に取り組む施策)

基本方針に基づき、以下の項目に重点的に予算を配分します。

- (1) 第8次総合計画後期実践計画 重点施策事業
 - ・超高齢社会への適応
 - ・「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資
 - ・まちの課題解決力の強化
- (2) 次世代を担うこども・若者、子育て世帯を支援する施策
- (3) 将来を見据え戦略的に推進するDX（デジタルトランスフォーメーション）施策

- (4) カーボンニュートラルを推進するGX（グリーン転換）施策
- (5) 激甚化・頻発化する自然災害へ備えるための施策
- (6) 持続可能な都市経営に向けた公共施設等の効率的な管理・保全等を図る施策

(歳出の適正化、歳入の確保)

- (1) 厳しい財政状況を踏まえて、最少の経費で最大の効果を挙げるために、実施効果を見極めた事業立案や見直し、横断的な調整による取組の最適化を徹底して行います。
- (2) 新規事業、拡大事業については、特定財源の確保や既存事業の縮小・廃止による一般財源の確保を徹底します。
- (3) 行政と民間の持つ経営資源を効果的、効率的に活用するため、公民連携を推進し、柔軟な発想で市と民間の役割分担や、民間活力導入による事業手法の見直しを行います。
- (4) 国県補助については、制度の情報収集を行うとともに、採択を受けるための事業手法への検討と調整を進め、積極的に確保します。また、市有財産の貸付・売却、広告事業、未収債権の削減、ふるさと寄附金等を始めとする歳入確保に積極的に取り組みます。

(投資的経費の確保)

- (1) ミライへの投資である普通建設事業費は、300億円以上を確保します。
- (2) 市債や基金は、まちづくりに必要な投資や市民サービスの提供のため、将来への負担を留意しながら必要に応じて有効活用します。

(特別会計、企業会計、協会公社等への対応)

- (1) 特別会計及び企業会計は、一般会計から繰出金等を支出していることから、本方針に準じた予算編成を行います。
- (2) 協会公社等に対する補助金や委託料等についても本方針に準じた予算計上を行います。